

後期基本計画（各論）進捗管理票（令和5年度事業分）

章		指標数	☆目標達成	○目標を概ね達成	△目標に届かず	－実績数値なし
第1章	優しく安心して暮らせる南房総 保健・医療・福祉	9	2	4	3	0
第2章	活力ある地域産業の南房総 産業・雇用	10	1	3	4	2
第3章	豊かな学びと文化の南房総 教育・文化・スポーツ	6	0	3	3	0
第4章	安全で快適な南房総 生活・自然	7	2	1	4	0
第5章	地域がつながる便利な南房総 道路・交通	2	0	2	0	0
第6章	市民が創る南房総 移住促進・市民参加・行財政	5	1	0	4	0
	計	39	6	13	18	2

第1章 優しく安心して暮らせる南房総（保健・医療・福祉）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
1-1 保健・医療 体制の充実	健康寿命の延伸	・健康ポイント事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防 事業の一体的実施	男 77.9歳 女 82.9歳	男 79.3歳 女 83.3歳	男 78.3歳 女 82.9歳	☆目標を達成	・市民の健康づくりへの意識の醸成 ・健診未受診者等、健康状態不明者 への対策	継続	健康推進課
	1歳6か月児健康診査・3歳児健康 診査の未受診児の状況把握率	1歳6か月児で5名、3歳児で6名の 未受診児がいたが、現認等により、 全員の状況を把握した。	100%	100%	100%	☆目標を達成	病気など、未受診の理由は様々であるが、未 受診児を減らす取り組みが必要である。	継続	子ども教育課
1-2 高齢者福祉 の充実	65歳以上に占める要介護 （要支援）認定率	介護予防に繋がるよう、運動機能の 向上に向けた機能訓練等に取り組む ことができた。 また、年間約120回の審査会によ り、3,000件程度の認定を実施。速 やかな認定を進めることができた。	20.3%	20.50%	22.0%	○目標を概ね 達成	自宅で安心して生活できるよう、運動機能向 上・栄養改善等の介護予防に繋がる取組を図 る。また、高齢化進行に伴う要介護認定者の 増加に対応するため、認定環境の整備と在宅 福祉サービスの基盤整備を図る。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの参加者数（延べ）	定期的なサロンの開催。 健康推進課、社会福祉協議会と連携 し、健康づくり・介護予防に関する 体操、講話を行った。	1,426人	3,304人	8,500人	△目標に届か ず	コロナ禍により、参加者の減少がみられた が、行動制限が解除され徐々に参加者が戻っ ている状況。交通手段がなく来所困難な方へ の対応や担い手不足が課題。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの設置数		22箇所	20箇所	25箇所	△目標に届か ず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。 既存のサロンの存続のため支援が必要。	継続	高齢者支援課
	認知症カフェの設置数	定期的なカフェの開催。 令和7年度チームオレンジ設置の準 備として、担い手へ認知症サポー ターステップアップ研修を行った。	2箇所	2箇所	5箇所	△目標に届か ず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。 既存のカフェ存続のため支援が必要。既存の カフェは、外房地区のため、内房地区への拡 充が課題。	継続	高齢者支援課
1-3 障害者福祉 の充実	グループホームの利用者数	共同生活を行う住居で、相談や日常 生活上の援助を行った。	110人	133人	120人	○目標を概ね 達成	障害者が重度化・高齢化する中、地域での生 活をできる限り継続できるよう重度障害者の 受入体制の整備が課題になっている。	継続	社会福祉課
	就労移行支援事業利用者数	一般企業等への就労を希望する人 に、一定期間、就労に必要な知識及 び能力の向上のために必要な訓練を 行った。	11人	8人	15人	○目標を概ね 達成	雇い入れ支援のみならず、長期にわたる職場 定着支援をどう行っているかが課題になって いる。	継続	社会福祉課
1-4 地域福祉の 充実	避難行動要支援者名簿を活用 した団体数	行政区に加入していない別荘地につ いて、名簿提供に向けた協定締結準 備を進めた。	128団体	128団体	130団体	○目標を概ね 達成	無し	継続	社会福祉課

第2章 活力ある地域産業の南房総（産業・雇用）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
2-1 農林業の振興	認定農業者の平均所得	県や農協等関係機関と協力連携し、栽培技術やコスト削減の指導、周知を行った。	2,406千円	一 千円	5,500千円	—	昨今の世界情勢を起因としたエネルギー関連、輸入飼料の高騰による経費の増加、収量の増加、コスト削減及び省力化に向けた取り組みが課題となっている。 【令和5年度実績値・進捗状況】 認定農業者は、5年毎の更新のため、現状値（2021）と目標値（2027）の間の年度実績に繋がりはしないため、実績不明とした。	継続	農林水産課
	新規就農者数	農業者の確保と育成のため、研修者や研修機関への支援を行った。	11人	12人	14人	〇目標を概ね達成	補助金交付終了後の生活費確保、新規就農者の離農抑制が課題。	継続	地域資源再生課
	農業産出額	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業や園芸用施設・設備整備費助成事業等補助事業等の国・県及び市の補助事業を活用した。	100億円	102億円	100億円	〇目標を概ね達成	農業者の高齢化と減少が進む中、地域農業を持続的に発展させるため世代間のバランスの取れた農業構造が課題となっている。	継続	農林水産課
	有害鳥獣による被害金額	広域的な防護柵の設置、狩猟免許取得支援や捕獲従事者の育成	12,142千円	19,945千円	10,000千円	△目標に届かず	捕獲従事者は高齢化しており、今後、捕獲業務に支障が出ると予想される。	継続	農林水産課
2-2 水産業の振興	水産物水揚げ金額	稚貝稚魚の放流、収益向上型輪採漁場整備促進、藻場再生・回復活動の促進	17億円	22億円	15億円	〇目標を概ね達成	漁業就業者の後継者不足により、アワビの輪採漁場の維持に苦慮することが予想される。	継続	農林水産課
	新規漁業就業者数	漁業研修生として、地域おこし協力隊を2名採用	6人	2人	6人	△目標に届かず	漁業者の後継者不足が深刻で漁業協同組合自体の経営地盤が傾くことが予想される。	継続	農林水産課
2-3 観光の振興	温泉宿泊客数	南房総市温泉郷パンフレット「ゆMAP」の配布や温泉むすめを活用したPRを実施し、誘客を図った。	27.2万人 (2018)	36.0万人	34.0万人	☆目標を達成	配湯事業を安定して行うためのタンクローリー車の購入や従量料金の見直しを行い体制強化を図る。	継続	観光プロモーション課
2-4 商工業の振興	高校生地元企業就職率	ハローワークや各高校の進路担当と連携をとり地元企業への就職を促すよう依頼した。	35%	35.90%	40%	△目標に届かず	少子化による就職者が減少することが課題である。	継続	商工課
	市内製造品出荷額等	商工会等関係団体と連携を取り、各種補助金等を周知した。	13,032百万円	一 百万円	13,032百万円	—	少子高齢化により市内製造業の事業縮小や廃業等が出荷額が減る傾向があること。	継続	商工課
2-5 新たな産業の振興	新たな仕事と雇用創出支援事業補助金活用による創業者数（累計）	市内で新規事業及び起業、市内進出する企業に対して、事業にかかる経費の一部を支援した。	36人	45人	56人	△目標に届かず	より多くの対象者へ周知するべく広報を強化し、既存事業者への継続的な支援策として、有効活用してもらうよう促進する必要がある。	継続	商工課

第3章 豊かな学びと文化の南房総（教育・文化・スポーツ）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
3-1 教育内容の 充実	学校外教育サービス利用者率	通信教育を助成対象に加え、通信教育を実施する事業者を参画事業者として登録し、助成券利用機会の拡大に取り組んだ。 1月の校長会議で主任指導主事が各学校の校長に対し事業説明を行い、事業利用者の拡大に努めた。	86.3% (71.5%から修正)	75%	85% (75%から修正)	△目標に届かず	小学生のみが対象という印象が保護者に強く認識されていること、中学生が通う学習塾等の参画事業者への登録が少ないこと課題であると考えられる。 助成券を利用できる参画事業者を増やすため、市内外の学習塾やスポーツ教室の事業者へも広く周知する必要がある。	継続	子ども教育課
3-2 子育て支援 の充実	子育てしやすいまちだと思う割合	国の制度の活用やライフスタイルの変化に合わせ、多様な働き方を支援し、家族との時間を大切にする、仕事と育児を両立できる環境づくりを促進するため、令和6年4月分から保育料を引き下げる取り組みをした。	53%	55.4%	70%	○目標を概ね達成	各事業の様々な取り組みは行われているが、内容に関して、市内外に周知が十分にされていないことが課題である。	継続	子ども教育課
3-3 学校教育施設 の整備充実	小・中学校の照明LED化改修率	計画的な大規模改修や学校再編について検討・協議を進めながら照明LED化に取り組んでいる。	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 100% 中学校 100%	○目標を概ね達成	学校再編の検討状況を確認しながら施設環境を整える必要がある。	継続	学校再編整備課
3-4 生涯学習の 推進	公民館定期利用サークル数 （文化協会加入サークル含む）	コロナ禍で活動制限等により、会員減少が見受けられたため既存サークルと連携し会員増に努めるとともに、公民館講座から新たなサークルへつながるきっかけづくりを行った。	236団体	228団体	236団体	△目標に届かず	同じ興味、関心、目的を持った住民の方々が集う機会はあるが、サークル化へのハードルがある。また、既存会員が高齢化し、新たな若い会員が少ない	継続	生涯学習課
3-5 文化振興と 地域文化の 継承	文化財保護団体等数	市内の文化財保護団体の活動に対し補助金の支給や、相談を行い団体が活動継続できるよう支援した。	12団体	12団体	12団体	○目標を概ね達成	文化財保護団体の活動母体である市内各地域の少子高齢化により団体の活動自体が困難になりつつある。	継続	生涯学習課
3-6 スポーツ・ レクリエー ション活動 の推進	スポーツ施設の利用者数	スポーツ協会やスポーツ少年団、各種スポーツ大会の活動費を支援しスポーツ・レクリエーション活動の推進を図った。また、スポーツ施設の適正な維持管理、環境整備に努めた。	130,881人	175,204人	200,000人	△目標に届かず	少子化により、スポーツ少年団の活動が困難になりつつある。	継続	生涯学習課

第4章 安全で快適な南房総（生活・自然）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
4-1 交通安全・ 防犯対策の 推進	交通事故発生件数	交通安全に関する広報、啓発を実施。また、交通指導員による指導等を実施。	92件	45件	76件	☆目標を達成	市民一人ひとりの交通安全に対する意識を高揚させることが必要である。	継続	消防防災課
4-2 防災・消 防・救急対 策の充実	自主防災組織による避難訓練実施地区数	行政連絡協議会開催時に自主防災組織の補助金説明を行い、自主防災組織に関する意識の高揚を図った。	69地区	62地区	117地区	△目標に届かず	各行政区（自主防災組織）に施策の重要性を説明していくことで、ご理解ご協力をお願いする。	継続	消防防災課
4-3 自然環境の 保全と共生	1人1日当たりのごみ排出量	生ごみ処理機購入補助やごみの出し方の啓発を通してごみ減量化を図った。	1,105g /人・日	1,113g /人・日	1,078g /人・日	△目標に届かず	R5現在1,113g/人・日であり、ごみ分別による資源化等が更に必要である。	継続	環境保全課
4-4 土地利用・ 景観整備	国土調査の実施状況 （国土調査済面積）	千倉町北朝夷7、8地区の一筆地調査を実施	106.47km ²	0.23km ²	108.47km ²	☆目標を達成	高齢化のため、現地に行くことが出来ない地権者が多くなり、思うように現地調査が進まなくなってきている。	継続	建設課
4-5 住環境の整 備	新築住宅取得者に対する支援件数 （5年間累計）	一定の要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付	134件	13件	140件	△目標に届かず	安房郡市外からの転入者に対する奨励金の交付が減少傾向である。	継続	建設課
4-6 上水道の整 備	既設石綿セメント管の改修率（市内の上水道に使用されている石綿セメント管の改修率）	配給水施設耐震化事業として4路線で約1.3kmの石綿セメント管を更新。	57.8%	60.79%	75.6%	○目標を概ね達成	市内の上水道施設は、石綿セメント管以外も老朽化が進んでおり、計画的に更新を実施していかなければならない。	継続	水道局
4-7 廃棄物対策 の推進	汚水処理人口普及率	合併処理浄化槽転換補助により汚水処理を推進した。	48.40%	50.25%	60.07%	△目標に届かず	R5現在50.25%であり、今後も合併処理浄化槽への転換を推進する必要がある。	継続	環境保全課

第5章 地域がつながる便利な南房総（道路・交通）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
5-1 道路の整備	舗装修繕計画の実施率	4路線、2,698㎡（計画の3.7%） の修繕工事を実施	16%	20%	21%	○目標を概ね 達成	起債により実施しているが当該事業が令和8 年で終了する予定であり、その後の財源の検 討が必要。	継続	建設課
5-2 公共交通の 機能強化	市内を運行する路線バスの1日当た りの平均利用者数	○南房総・館山地域公共交通計画に 基づき、地域公共交通の維持・存続 に努めた。 ・平群線の路線の再編として予約制 乗合送迎サービス「チョイソコ南房 総・館山」を令和5年10月に本格運 行した。 ・チョイソコ南房総・館山のシステ ムを他の路線・地域でも検証を行っ た。 ・WEB乗車券をバス事業者の協力に より販売を行った。 ・当該地域のキャッシュレス利用の 動向調査を行い、今後の導入に関す る検証を行った。	750人	846人	750人	○目標を概ね 達成	人口減少や自家用車への依存度が依然として 高いため、公共交通の利用者減少が続いてい る。 引き続き、公共交通の維持・確保に繋げるた め、既存路線の見直しや新たな交通形態の検 証など交通事業者や利用者と共創しながら党 が地域の公共交通の再編に取り組んで行く。	継続	企画財政課

第6章 市民が創る南房総（移住促進・市民参加・行財政）

施策	指標	令和5年度 取組内容	現状値 (2021)	令和5年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
6-1 協働のまち づくりの推 進		NPO・自主的まちづくり活動団体の数（市内で活動しているNPOや自主的まちづくり活動団体の数）	76団体	82団体	84団体	△目標に届かず	まちづくりチャレンジ事業に参加した活動団体が補助事業の終了後に継続して活動しているように支援することが難しい。	継続	市民課
6-2 移住・交流 の促進	空き家バンクを利用した市外からの転入者数（累計）	住環境整備として物件登録14件。改修工事が必要な空き家には空き家利用促進奨励金による改修工事6件	90人	152人	135人	☆目標を達成	空き家の掘り起こしのための啓発。空き家対策セミナーと空き家相談会を継続する。	継続	建設課
	人口の社会増減（5年間平均）	移住・定住情報サイトの機能強化及び館山市との連携強化（定住自立圏構想）	△40.2人 (2017～2021)	△138人	△30.0人	△目標に届かず	・市の認知度不足 ・賃貸物件の不足	拡充	企画財政課
6-3 男女共同参 画社会の形 成	男女が平等になっていると感じる人の割合	第4次南房総市男女共同参画推進計画を策定し、男女共同参画社会の形成に対して広報啓発した。	16.2%	18.80%	20.0%	△目標に届かず	計画策定時に実施したアンケートでは、男女共同参画社会に対して市民レベルでの意識が高まっていないことが分かった。	継続	市民課
6-4 効率的・効 果的な行財 政運営の推 進	公有財産の建築物延べ床面積	・令和6年3月に公共施設等総合管理計画及び個別計画の改定を行った。 ・学校施設跡地を活用した公園整備等に着手した。	215,459㎡	206,169㎡	200,300㎡	△目標に届かず	資材費及び労務単価の高騰により、今後実施を予定している公共施設の再編整備に係る各種工事や廃止施設の跡地を活用した経済振興施設・公園整備等に係る工事請負費の増加が懸念される。	継続	企画財政課